



桂川駅の南北を結ぶ自由通路及びエレベーター等が完成し、3月21日に開通式を行いました。

桂川町にとって、桂川駅は町づくりの重要な柱であり、近代の町の歴史を反映し、人々の暮らしを支え、将来への期待と希望を紡いできました。

駅を中心とした周辺の整備は、予てからの課題であり、一時は、区画整理事業について調査・検討した経緯もありますが、事業のハードルが高く、実現には至りませんでした。

今回、駅南側からの利用ができるようにするため、自由通路やエレベーターの設置、周辺道路の整備等に取り組む中でも、様々な壁にぶつかり、難しい事案に悩まされ、中々、思うように進まない状況もありましたが、地元関係者の皆様のご理解とご協力をいただくとともに、九州旅客鉄道株式会社をはじめ、関係機関のご指導・ご鞭撻を賜り、念願の自由通路開通式を迎えることができましたことを、心から深く感謝申し上げます。

桂川駅は、博多駅と30分で結ばれ、パークアンドライドとして利用される方が多く、圏域全体の玄関口としての役割を担っていると言えます。

また、駅の近くに国指定特別史跡「王塚古墳」はじめ、天神山古墳・金比羅山古墳などの文化遺産があり、この地域は、古代から人々が住みやすい所であったことを物語っていると自負するところでございます。

自由通路の開通を機に、本町の豊かな自然と住み心地の良さをアピールするとともに、駅を核とした利便性の良さを発信し、福岡都市圏との人口交流の拡大に繋げていきたいと考えています。

今後とも、更なるご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

桂川町長 井上 利一



どなたでも安心して駅を利用できるようにとなっております。また、エレベーターの外壁には国指定特別史跡「王塚古墳」の壁画に描かれた「三角文」があしらわれ、「桂川町らしさ」の詰まった「新しい桂川駅」が誕生しました。平屋だった駅舎を鉄骨2階建てに建替え、駅南側には有料駐車場を新たに整備し、国道200号からのアクセスもスムーズとなりました。

自由通路が開通したことにより、南北の往来ができ、利用者の利便性の向上、朝夕の渋滞緩和に繋がるだけでなく、町民の笑顔も繋ぐ桂川町の新たなまちづくりの拠点となることを願っています。

※式典の看板の「自由道路」は正しくは「自由通路」です。

